さいたまトリエンナーレ2016　テーマ＝未来の発見！

127万もの人々が生活するさいたま市に、世界に開かれた創造と交流の現場をつくりだそうとする国際芸術祭。テーマは「未来の発見！」。アートを鑑賞するだけでなく、共につくる、参加する芸術祭です。土地の歴史やまちの構造を想起させる、市内のさまざまな場所が会場となります。国内外のアーティストたちの多様で多彩な想像力に触発されて、私たちはさまざまな未来を夢見ていく。作品はすべて新作。日本を代表する生活都市から生まれる、想像力の祭典をお楽しみください。

—さいたまトリエンナーレ2016 ディレクター　芹沢高志

Saitama Triennale 2016 Envisioning the Future!

Home to some 1.27 million people, Saitama Triennale 2016 will newly be launched as an international art festival open to the world and serving as a platform for creativity and exchange. The theme for 2016 is “Envisioning the Future!” The festival is not only about appreciating art, but about making and participating it, too. Taking place at various locations, the festival will offer foresights of history and structure of its own land. The various and diverse imaginations of the artists from Japan and worldwide shall allow us dream our own individual future. All the artworks are new works. From the city representing Japan as the home of dwellers, we hope you all enjoy this celebration of imagination.

—Saitama Triennale 2016 Director SERIZAWA Takashi

アートプロジェクト
Art Projects

参加アーティスト
Artists

アルファベット記号は会場（マップページ）、( ) 内は出身国、〈 〉内は作品名、作品写真は一部展示作品と異なる
*は上演、上映スケジュールを公式ウェブサイト／ガイドブックで要確認

与野本町駅〜大宮駅周辺 ▶

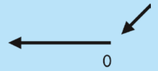
ⓐ

〈息をする花〉展示風景 2016, Photo: NISHINO Masanobu

〈ハッピーハッピー〉2016 ヘルシンキ現代美術館での展示風景

チェ・ジョンファ／CHOI Jeong Hwa（Korea）
〈息をする花〉Breathing Flower／〈ハッピーハッピー〉Happy Happy
ダイナミックで視覚的な作品は点在さいたま芸術劇場に展示。プラスチックの日用品で構成された〈ハッピーハッピー〉と、柔らかい動きで静かに呼吸を繰り返す蓮の花の巨大なオブジェ〈息をする花〉。どちらの作品も、アートは生活に寄り添うものであり、そして誰もがアーティストに成り得るというチェ・ジョンファの全作品に通ずるテーマを体現している。

ⓑ



長島碓＋やじるしのチーム
NAGASHIMA Kaku & The Team for Yajirushi（Japan）〈←〉
劇作家・太田省吾による演劇作品「↑（やじるし）」シリーズに豊想を得た、市内全域に〜を掲げる題名が参加できるプロジェクト。まちなかに出現した〜が写真におさめられ展示されていく。

ⓒ

〈映像演劇 op.1　模橋経那〉2016

岡田利規／OKADA Toshiki（Japan）
〈映像演劇 op.1 模橋経那／EIZO ENGEKI op.1 Ayana Shibashi〉〈映像演劇 op.2 青柳いづみ／EIZO ENGEKI op.2 Izumi Aoyagi〉
区役所の使われなくなった部屋と貸室を舞台に書き下ろされた戯曲を、演劇と映像が融合した手法で展開。まだ見ぬ新しい演劇を岡田利規が “映像演劇” と名付け、初演する。

ⓒ

〈1000のデュオのための曲〉

ダンカン・スピークマン＋サラ・アンダーソン
Duncan SPEAKMAN & Sarah ANDERSON（UK）*
〈1000のデュオのための曲〉Songs For A Thousand Duets
ヘッドフォンから流れる歌、音楽、音声が、日常のさまざまな風景をさまざまな Asian Music Network と大貫良美がアジアとさいたまが交差する三日間を演出。

ⓓ ⓔ

〈オーケストラ Tokyo-Fukushima!〉2011

大友良英＋Asian Music Network
OTOMO Yoshihide & Asian Music Network*
〈Ensembles Asia Special〉
アジアからのアーティストが一般の参加者と共に作り上げる音楽パフォーマンス。ユエン・チーワイとdj sniff（水田拓郎）による Asian Music Network と大友良英がアジアとさいたまが交差する三日間を演出。

ⓔ

制作風景 2016年8月12日

秋山きやか／AKIYAMA Sayaka（Japan）
〈雫（仮）DROPS（tentative）
国内外を巡りつつ、その時の思いを色とりどりの糸に込めて表現する。約4ヶ月の大宮での滞在制作のなかで、作業が見つけた物や、自分覚てに毎日投面した手紙などをもらいて、まちと人々との出逢い、記憶が結ぶ出会い、可視化される空間を作り出す。

武蔵浦和駅〜中浦和駅周辺 ▶

ⓔ

〈SMF 学校〉2016 Illustration: Aoyama Yasuyuki

SMF（Saitama Muse Forum）（Japan）*
〈SMF学校〉SMF School
既存のジャンルにとらわれない自由で多彩なアートプログラムを企画してきたSMFが、トリエンナーレのために学校を開校！建築・ダンス・造形美術・パフォーマンス・音楽などにまつわるユニークな授業を毎週金曜（夜）、土曜・日曜日に開催。

ⓕ

Environmental Action Coalition NYC. 1970

磯辺行久／ISOBE Yukihisa（Japan）*
〈エアードーム：さいたまトリエンナーレ2016〉
Air Dome Saitama Triennale 2016
1970年、アメリカで開催された第1回アースデイにてエアードームを発表。全世界的に環境への関心が高まったこの時代から40年余りがたったいま私たちは当時描いた未来の只中にいる。これからの未来を考えるために新たなエアードームを展示する。

ⓖ

〈サイタマ・フロンテージ〉2016 Photo: momoko japan

ユン・ハンソル／YOON Hansol（Korea）*
〈サイタマ・フロンテージ〉Saitama Frontage
実際に運行している車両を舞台に繰り広げられる新作演劇パフォーマンス。車両内、プラットホーム、車窓からの風景、あらゆるところに演出の仕掛けが散りばめられ、観客はフィクションと現実が混在する車両へと乗車する。

ⓗ

〈STATION TO STATION〉イメージ 2016

ダニエル・ゲッティン
Daniel GÖTTIN（Switzerland）
〈STATION TO STATION〉
トリエンナーレカラーをベースにした、2色のカラフルなフィルムによるラインアウトペインドによる作品を設置。祝祭的な環境をつくることで、日常の風景をアーティスティックな空間へ変ぼうさせる。

ⓗ

〈時間の道〉より 2016 ©ウィスット・ポンニミット

ウィスット・ポンニミット
Wisut PONNIMITT（Thailand）
〈時間の道〉Road of time
『タムくん』の愛称で知られるタイの漫画家による作品。花と緑の散歩道の道路標識に、漫画から飛び出した『マムアンちゃん』（タイ語でマンゴーの意味）というキャラクターが登場。未来の発見に誘うウィットのある「ひとことシリーズ」を展開する。

ⓘ

〈さいたまビジネスマン〉2016

アイガルス・ビクシェ
Aigars BIKŠE（Latvia）
〈さいたまビジネスマン〉Saitama Businessman
毎日合計約50万の人が行き来しているという生活都市・さいたま。全長9.5mのビジネスマンはユーモアとともに現代社会の姿を映し出す。新幹線が走る高架下芝生の上にゆったりと寝そべるビジネスマンは何を想う。

ⓙ

〈家と出来事 1971-2006 年の会話〉作品イメージ 2016 ©Takeshi YAMAGISHI

松田正隆＋速藤幹大＋三上亮
MATSUDA Masataka & ENDO Mikihiro & MIKAMI Ryo（Japan）
〈家と出来事 1971-2006年の会話〉
House and Events: Conversations 1971–2006
現在は使われていない空家住宅を舞台に想像と現実の風景を重ね合わせたインスタレーションを展開。かつてそこにあった出来事と、家という場の記憶を浮かび上がらせる。演劇、映画、美術、といった異なるジャンルの作家による共同制作作品。

ⓙ

ビデオ作品〈特別救助隊より〉2016

野口里佳／NOGUCHI Rika（Japan）
〈はじまり（仮）〉Beginning（tentative）
さいたま市見沼区で生まれた野口にとって、故郷は「世界の中心」のような場所だった。世界各地で自分にしか見えないものを撮り続けてきたまなざしでさいたまを見つめ直し、写真作品および映像作品を展示。

岩槻駅周辺 ▶

ⓙ

〈アンタイトルド・ドローイング・プロジェクト〉2013

鈴木桃子／SUZUKI Momoko（Japan）
〈アンタイトルド・ドローイング・プロジェクト〉
Untitled Drawing Project
「BECOMING」というテーマのもと、絵筆によるドローイングで構成されたインスタレーション作品。真白な壁から始まったドローイングはやがて壮大な宇宙の生命のサイクルとなり、最後に何もない空間「形のない宇宙」に帰っていく。

ⓙ

〈土地の記憶を辿って〉（部分）2016

高田安規子＋枚子
TAKADA Akiko & Masako（Japan）
〈土地の記憶を辿って〉Discovering the sense of place
縄文期には海に面していたとされる、かつて使われていた住宅が台風となる、長い年月を経過させる自然の様相をモチーフにした装飾により深そのものを再生させる。

ⓚ

〈種は船@別所沼公園〉2016

日比野克彦／HIBINO Katsuhiko（Japan）
〈種は船プロジェクトin さいたま〉
The Seed is A Ship in Saitama
日本全国の地域や人々をつなぐ「種は船プロジェクト」が「別所沼公園に登場。ワークショップと展示を通じて、さいたまで新たな記憶を積み込んでいく。

ⓘ

〈ハッピーアワー〉2015 © 2015 神戸ワークショップ／ネマプロジェクト

ロングフィルム・シアター／Long Film Theatre（Japan）*
「ハッピーアワー」「雲の糸」「わたしはロランス」「フタバから遠く離れて2016総集編」「0.5ミリ」「親密さ」
映画ジャンルの中でも本数の少ない「長尺映画」に通を解決も時間、スクリーンの中の日常を論体験し、劇場から一歩外へ出たとき、違った景色の広がりが見えるような、そして今日からまた心温かく歩み ついけると思えるであろう6作品を厳選、上映。

ⓜ

〈新しい骨董オークション〉イメージ 2016

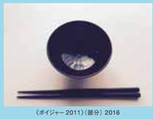
新しい骨董（山下陽光、下道基行、彫山裕樹）
NEW ANTIQUE（YAMASHITA Hikaru & SHITAMICHI Motoyuki & KAGETAMA Yuki）（Japan）*
〈作品タイトル未定〉Title TBA
異なる土地で活動するメンバーが、時間を経ん動り続けるものや重る「新しい骨董」とともに、まちやインターネットに溢れるさまざまな物事を探索し、その美しさや価値を問うプロジェクト。

ⓞ

Seoul 284 での展示風景 2014

チェ・ジョンファ／CHOI Jeong Hwa（Korea）
〈サイタマンダラ〉SaitaMandala
リサイクルのため圧縮されキューブ状になったペットボトルを素材にした作品。市民はペットボトルを使い不要物として廃棄したことで、自動的にこの作品に参加していることになる。

ⓟ



〈ボイジャー 2011〉（部分）2016

藤城光／FUJISHIRO Hikari（Japan）
〈ボイジャー 2011〉Voyager 2011
東日本大震災以降、「PRAY+LIFE」の活動として人々の生活や体験をインタビュー、発信してきた。今回は新作として、埼玉県に避難してきた方などを迎えながらまちにまつわる経験のインタビューや、思い出の品をインスタレーションとして発表する。

ⓟ ⓢ

さいたま熱れた鉄隊

日本相撲関芸術作曲家協議会（鶴見幸代＋野村誠＋樋山智子）
JACSHA［TSURUMI Sachiyo & NOMURA Makoto & MOMIYAMA Tomoko］（Japan）
〈JACSAHA土俵祭り in岩槻〉JACSHA Dohyo-Matsuri in Iwatsuki
〈相撲関芸術研究室〉Sumo Hearing Arts Research Station
相撲をこよなく愛する3人のちょっと変わった作曲家ユニット「日本相撲関芸術作曲家協議会」略してJACSHA（ジャクシャ）が、「相撲」を通じてさいたまの土と音楽に触れるプロジェクトを展開。

ⓟ

〈屋の角がもう少し長ければ 歴史は変わっていただろう〉（原画）2015 © Ryuzo KAWANO

川埜龍三／KAWANO Ryuzo（Japan）
〈屋の角がもう少し長ければ歴史は変わっていただろう〉
If Rhino's horn had been longer, the world would have been changed.
現在私たちが存在していると世界「さいたま市」と、同時に存在する並行世界「さいたま市」の発掘キャラバン隊の活動により発見された、埴輪群と発掘現場を視覚化した歴史改変SF作品。

ⓟ

〈アダプテーション〉2016

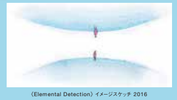
オクイ・ララ／Okui LALA（Malaysia）
〈アダプテーション〉adapu-teishon
「adaptation（適応）」をキーワードに、いろいろな市内で活動する外国にルーツをもつ方々とともに作品を制作。異なる文化や言語、文脈の間で像を起こることをすくい取る。制作の過程を構成要素とする映像＆インスタレーション作品。

ⓟ

〈Array #1 2014〉2014

アダム・マジャール
Adam MAGYAR（Hungary）
〈ステンレス, 大宮〉Stainless, Omiya.〈アレイ #3〉Array #3
独自に開発した撮影機材と技術を使って大宮駅のホームや構内の人々を撮影した作品。ひとりの人物の映像でもシンプル撮影された時間が異なるため、スーパースローモーションの効果も相まって、個々の人間の姿や動作が劇的に強調され深い印象をもたらす。

ⓟ



〈Elemental Detection〉イメージスケッチ 2016

目／Mé（Japan）
〈Elemental Detection〉
既存の視点を覆すような世界を創出する活動で、今最も注目のアーティストユニット。旧民俗文化センターの既視感に触発された大型インスタレーション作品により、日常生活に突如立ち現れる非日常空間、想像を超えた空間を生み出す。

ⓟ

〈感覚の洗濯〉ワークショップ風景 2016

西尾美也／NISHIO Yoshinari（Japan）
〈感覚の洗濯〉The Laundry of Senses
「装い」や「衣服」について様々な視点から制作を続けているアーティスト。さいたまでは、市民と共に公園で洗濯干を行い、まちなかに万国旗のように干すことで祝祭的な「洗濯物の風景」を作り出すワークショップを開催した。この点で新しい洗濯文化の記録をインスタレーションとして展開。

ⓟ

〈Commuter／通う人〉（部分）2016

大洲大作／OOZU Daisaku（Japan）
〈Commuter／通う人〉Commuter
〈車窓をあつめる〉Collecting train windows
さいたまに暮らす人が日々接する通勤電車、その車窓にうつる光と影、窓ガラと風景から発見し、構成するインスタレーション作品〈Commuter／通う人〉と、寄せられた市民の声を反映してゆく〈車窓をあつめる〉プロジェクトを展開する。

ⓟ

〈帰って来たドクター N〉2013 ヨコハマ創造都市センター

小沢剛／OZAWA Tsuyoshi（Japan）
〈帰って来たJ.L.〉The Return of J.L.
歴史上の実在する人物を題材に、事実とフィクションを重ねあわせ物語を構築する「帰って来た」シリーズの最新作。50年前、東京とマニラの若者を触媒の通に巻き込んだ四人組のひとり、J.L.をテーマに未来を問う〈帰って来た J.L.〉を展示。

ⓟ

〈未来はプレゼント〉2016 ©ウィスット・ポンニミット

ウィスット・ポンニミット
Wisut PONNIMITT（Thailand）
〈未来はプレゼント〉Future is a gift
「空から優たちに落ちてくる未来は素敵なプレゼント」というコンセプトのもと、未来を予感させるストーリーを旧民俗文化センター回廊に展開。

ⓟ

〈水がありました〉（部分）2016

ソ・ミンジョン／SEO Min Jeong（Korea）
〈水がありました〉THERE WAS WATER
水川林域内で撮影した素材を用いた、大がかりな映像インスタレーションを発表する。韓国である韓国、学生として滞在した日本やイイマでの経験など、多文化を横断し普遍的な視線を獲得してきた彼女の眼々を視点と時間が内包された作品。

ⓟ

〈L字の部屋〉（部分）2016

多和田葉子／TAWADA Yoko（Japan）
〈白熊の部屋〉Room of Polar Bears
〈されたL字型の部屋〉Room of Touchable Letters
〈L字の部屋〉L-shape Room
旧民俗文化センターの建物の廊跡、記憶からテキストを書き下ろすほか、書物、点字、活版印刷などL字や言葉を体感するような旅家などなどのL字のL字インスタレーション」を行う。

ⓟ

〈Moon Plain,　Australia〉2002

マテイ・アンドラシュ・ヴォグリンチッチ
Matej Andraž VOGRINČIČ（Slovenia）
〈無題（枕）〉Untitled（Pillows）
普段は見過ごされがちなあいふた場所をありふれた素材で建めつくす手法で、地域や伝統、歴史の特有性を視覚化するアーティスト。今回は枕を使って、日常では見ることのない新鮮な光景で観賞者の感覚を揺さぶる。

ⓟ

〈Invisibility〉スチール写真 2016, photo: Chai Siris

アピチャッポン・ウィーラセタクン
Apichatpong WEERASETHAKUL（Thailand）
〈Invisibility〉
映画と美術の世界で活躍する、タイの奇才による新作映像インスタレーション。さいたま市内で録音した音に着想を得て、影を題り起こした幻想世界を展開する。

ⓠ

© Tomoko Mukaiyama

向井山朋子／MUKAIYAMA Tomoko（Japan）*
〈Home〉
信頼関係の揺らぐ時代、私たちにとって家とは、家族とは、家族とは？さいたま市内の古い家屋を舞台に、向井山朋子が演出、音楽、映像を手掛け、世界的ダンサー・湯浅永麻の身体が私たちに新たな記憶を呼び起こす、インスタレーション＆パフォーマンス。

ⓡ

〈ホームベース・プロジェクトさいたま 2015〉会場風景

ホームベース・プロジェクト
Home Base Project（NYC, Berlin, Jerusalem, Saitama City）*
〈ホームベースプロジェクトさいたま2015〉HomeBase Project SAITAMA 2016
*Homeとは何か？をコンセプトとする、移動型国際アーティスト・イン・レジデンス（AIR）プロジェクト。岩槻区を拠点に国内外のアーティスト複数名による滞在プロジェクトを実施。共同生活とリサーチ成果を「オープン・ハウス」として一般公開する。

期間限定アートプロジェクト＆イベント　【アーティスト】／タイトル／ジャンル／会場／日程

【長島碓＋やじるしのチーム】 ―― 〈←〉／市民参加プロジェクト／市内各所／11月下旬まで
【大洲大作】 ―― 〈車窓をあつめる〉プロジェクト／写真（情報募集中）／さいたま市及びその周辺の車窓／11月下旬まで
【日本相撲関芸術作曲家協議会（JACSHA）】 ―― 〈JACSHA 土俵祭り in 岩槻〉に向けたワークショップ／ワークショップ／市民会館いわつき 他／9/22、9/30、10/1
【磯辺行久】 ―― 〈エアードーム：さいたまトリエンナーレ2016〉／インスタレーション／山丸公園／9/22〜10/2
【ウィスット・ポンニミット】 ―― 似顔絵イベント／パフォーマンス／旧民俗文化センター／9/24
【ユン・ハンソル】 ―― 〈サイタマ・フロンテージ〉／移動型パフォーマンス／東武鉄道列車内／9/24、9/25、10/8、10/9 14:06 大宮駅発
【ダンカン・スピークマン ＋ サラ・アンダーソン】 ―― 〈1000のデュオのための曲〉／体験型サウンド・インスタレーション／大宮区役所からスタート／9/24〜12/11 13:00〜20:00（19:00 最終受付）定休日：火・水
【鈴木桃子】 ―― 〈アンタイトルド・ドローイング・プロジェクト〉／インスタレーション、パフォーマンス／旧郵長公舎／公式ウェブサイトにて告知
【向井山朋子】 ―― 〈Home〉／インスタレーション、パフォーマンス／K 邸／展示：会期中 15:00-19:00（ただし火・水、10/10〜10/16、10/29〜11/2 を除く）
上演：毎週土曜日（ただし10/15、10/29 を除く）／①15:00-15:40　②18:00-18:40
【SMF（Saitama Muse Forum）】 ―― SMF学校「都市計画と建築」／ワークショップ、レクチャー／市民会館おおみや　旧地下食堂／9/25〜10/7（金・土・日）
【日本相撲関芸術作曲家協議会（JACSHA）】 ―― JACSHAとさいたま熱れた鉄隊による〈JACSHA 土俵祭り in 岩槻〉／イベント／岩槻区まちなか各所、クレセントモール／10/2 13:00〜15:45
【ロングフィルム・シアター】 ―― 『ハッピーアワー』&トークショー／映画上映／ユナイテッド・シネマ浦和／10/7 11:00-17:02（上映）+1H
【SMF（Saitama Muse Forum）】 ―― SMF 学校「コラボレーション」／ワークショップ、レクチャー／市民会館おおみや　旧地下食堂／10/8〜10/29（金・土・日）

【ロングフィルム・シアター】 ―― 『親密さ』&トークショー／映画上映／ユナイテッド・シネマ浦和／10/8 13:00-17:30（上映）+1H
トークイベント／ゲスト：佐藤守弘（京都精華大学）／トーク／旧民俗文化センター／10/9 13:30
ワークショップ：日比野克彦とともに別所沼公園を巡るツアー＆写生大会／ワークショップ／別所沼公園／10/15、10/16 13:00-16:00
【SMF（Saitama Muse Forum）】 ―― SMF 学校「パフォーマンス」／ワークショップ、レクチャー／市民会館おおみや　旧地下食堂／10/30〜11/5（金・土・日）
【ホームベース・プロジェクト】 ―― 〈OPEN HOUSE〉／パブリック・プログラム（展示）／東玉社員寮／11/3〜12/11（ただし11/7〜11/9を除く）
【ロングフィルム・シアター】 ―― 『雲の糸』（ただち）&トークショー／映画上映／ユナイテッド・シネマ浦和　11/4 13:00-16:16（上映）+1H
【ロングフィルム・シアター】 ―― 『わたしはロランス』&トークショー／映画上映／ユナイテッド・シネマ浦和／11/5 13:00-15:48（上映）+1H
【SMF（Saitama Muse Forum）】 ―― SMF 学校「都市とアート」／ワークショップ、レクチャー／市民会館おおみや　旧地下食堂／11/6〜12/1（金・土・日）
【多和田葉子】 ―― 多和田葉子朗読パフォーマンス／朗読会／旧民俗文化センター／11/6 14:00-16:00
【大友良英＋Asian Music Network】 ―― Ensembles Asia Special　大宮小学校対象ワークショップ（一般参加なし）／ワークショップ／大宮小学校／11/24
【大友良英＋Asian Music Network】 ―― Ensembles Asia Special　トー2&ライブ／パフォーマンス、ライブ／市民会館おおみや／11/25 19:00-21:00
【大友良英＋Asian Music Network】 ―― Ensembles Asia Special　アーノット&デュトのワークショップ／ワークショップ／大宮小学校　11/26 10:00 / 13:00
【大友良英＋Asian Music Network】 ―― Ensembles Asia Special　アンサンブルズ・アジア・スペシャル／パフォーマンス／大宮小学校 体育館 他／11/27 12:00-16:00
【SMF（Saitama Muse Forum）】 ―― SMF 学校「映像とデザイン」／ワークショップ、レクチャー／市民会館おおみや　旧地下食堂／12/2〜12/4（金・土・日）
【ロングフィルム・シアター】 ―― 『0.5 ミリ』&トークショー／映画上映／ユナイテッド・シネマ浦和／12/2 13:00-16:16（上映）+1H
【ロングフィルム・シアター】 ―― 『フタバから遠く離れて 2016 総集編』&トークショー／映画上映／ユナイテッド・シネマ浦和／12/3 13:00-16:15（上映）+1H
【日本相撲関芸術作曲家協議会（JACSHA）】 ―― 『タイトル未定』／トーク、ワークショップ／公式ウェブサイトにて告知／12/11（予定）

協賛

Ceremony セレモニー　エコ計画　スクール21　mainichi 毎日興業株式会社　アイリスオーヤマ　アイルグループ　Asahi　SHISEIDO　nem　生ビール好きの天然炭酸の水　武蔵野銀行　ヤオコー　埼玉自動車販売　日東レジン株式会社　MATSUNAGA 株式会社 松永建設　UNITED CINEMAS　天山

片倉工業株式会社　コクーンシティ／株式会社カタヤマ／カルソニックカンセイ株式会社／埼玉縣信用金庫／さいたま市歯科医師会／さいたま商工会議所／埼玉りそな銀行／城西大学／株式会社ジャスト
株式会社タムロン／東京ガス株式会社埼玉支社／株式会社トロマネージメント／ポーライト株式会社／ひさし証券／株式会社日コハマタイヤジャパン／スチットラー日本株式会社
株式会社伊藤園／近畿日本ツーリスト株式会社／さいたま農業協同組合／新日鉄住金エンジニアリング株式会社／南彩農業協同組合／飯能信用金庫／株式会社富士薬品／株式会社ミスバリ／志水製袋店／一般社団法人マルタス○十／ユザワヤ

助成

文化庁　平成28年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業
SOMPO ホールディングス 損保ジャパン日本興亜 SOMPO アーツ・ハブ／公益財団法人 SOMPO 美術財団
KOREA FOUNDATION 韓国国際交流財団　KF
公益財団法人 日韓文化交流基金
NOMURA 野村財団
公益財団法人 日本宝くじ協会 JKA 競艇・競輪

後援

駐日ハンガリー共和国大使館／駐日イスラエル大使館／駐日ラトビア共和国大使館
駐日マレーシア大使館／在日メイス大使館／在東京タイ王国大使館